

トピックス

「統合報告書2021」の発行

本年10月、従来から発行していた「アニュアルレポート」と「CSRレポート」を統合し、当社グループの概要や経営ビジョン、財務状況、ESG経営に関する取り組み等をまとめた「統合報告書2021」を発行しました。気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言を踏まえた当社グループの低・脱炭素化への取り組みやDXの取り組み等の財務情報・非財務情報の充実を図っています。「統合報告書2021」は、当社ウェブサイトをご覧ください。

アドレス：<https://www.osakagas.co.jp/company/ir/library/ar/index.html>



カーボンニュートラル技術の研究開発拠点の開設

本年10月、大阪市此花区にカーボンニュートラル技術の研究開発拠点「Carbon Neutral Research Hub」を開設しました。本拠点では、低・脱炭素化に資する触媒・燃焼技術等をさらに進化させ、「2050年カーボンニュートラル実現」とそれまでのCO₂排出量削減に向けた研究開発に取り組んでいます。



研究開発拠点内の様子

新素材「放射冷却素材」の販売事業の開始

本年6月、Wil, LLCと当社が共同で運営するSPACECOOL株式会社(出資比率49%)は、直射日光下でも宇宙に熱を逃がすことでエネルギーを用いずに外気温よりも温度低下する新素材「放射冷却素材」の販売事業を開始しました。本素材は、地球温暖化対策、省エネルギーおよび冷却快適商材としての活用が期待でき、本年8月には、大阪・関西万博会場予定地において実証実験を開始しました。

SPACECOOL



放射冷却素材(フィルム)の外観

保安業務におけるAI技術の活用

本年6月、他社の掘削工事によるガス管の破損リスク低減を目的として、大阪シティバス株式会社の路線バスに搭載したAIカメラにより工事現場を自動認識する、パトロール業務の試験運用を開始しました。また、道路下の埋設管の位置を掘削せずにAIで判定するソフトウェアを共同開発し、活用しています。今後も保安の確保や業務の生産性向上等に資するDXの推進に取り組んでいきます。



路線バスの車載カメラによる
工事現場検知のイメージ